

日本共産党の浜田よしゆきです。2025年国際博覧会の誘致に関する決議案に反対の立場で、討論します。

私どもは、国際博覧会そのものには、必ずしも反対ではありません。しかし、大阪府・大阪市が誘致しようとしている、大阪市・夢州を会場とする国際博覧会は、カジノを中核とする「統合型リゾート」(IR)の誘致と一体のものです。大阪府、大阪市、関西経済連合会、関西経済同友会、大阪商工会議所で構成される「夢州まちづくり構想検討委員会」が6月にまとめた「夢州まちづくり構想」では、3段階において整備する計画で、第1期では、IRの核となるカジノのほか、ホテルや商業施設、国際会議場・展示施設を誘致する、第2期は、大阪府などが誘致をめざす万博の会場として整備。万博後を見据えて、エンターテインメントを体験できる拠点、医療ツーリズム、スポーツツーリズムの機能を拡充する、第3期は、長期滞在型リゾート施設を整備する、という計画になっています。国際博覧会誘致とIR誘致を一体に進めようとしていることは明らかです。IR誘致については、関西広域連合に参加している府県市の間にも、意見の違いがあります。

そもそも、カジノは、違法なとばくで、人のお金を巻き上げて、不幸になる人が増えるほど収益が増えるという代物であり、依存症対策、治安対策、青少年対策など、様々な社会的問題をはらんでいます。そのカジノを中核とするIRの誘致と一体の国際博覧会の誘致には反対です。

以上で反対討論を終わります。